

国際文化学科

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・ 多様な地域・領域の文化を専門的に学ぶために、国際文化学科の専門科目を置く。
- ・ 複合領域としての国際文化の学びにアプローチするために、理論的かつ実践的な導入科目を置き、「越境体験」としての海外短期研修を必修とする。
- ・ 大学での学びに必要な論理的思考・スキル・ICT・コミュニケーション力や、国際文化研究の基本的な方法を身に付けるために、アカデミック・トレーニング科目を置く。
- ・ 海外・国内を問わず、教室の外に文化に関連する課題を見出し、他者と協力しながら解決する力を身に付けることを目的とする実習科目として「実践プログラム」を置き、その成果を外国語で発信する科目と合わせて、実践トレーニング科目とする。
- ・ 4年間の学修の集大成として、卒業研究を必修とする。